

## 【様式1】

## 令和5年度 授業改善推進プラン

## 東久留米市立南中学校 第2学年

教科	学力に関する各調査に基づく生徒の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)	次年度に向けた 自己評価 (A・B・C)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字を書くことに課題が見られるため、定期テストや漢字テストの際時間が足りなくなる。</li> <li>・漢字テストや定期テストの間違ったことをやり直す習慣ができていない生徒は60%ほどである。</li> <li>・本が好きな生徒は多いが、文の読解に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字テストやノート、ワークシートなど書く機会を増やし、文字を書くスピードアップを図り、書ききれない割合を10%以下にする。</li> <li>・やり直しを丁寧に指導し、弱点に対して自分で取り組み、80%以上が達成感を味わえるようにする。</li> <li>・読解力を身に付けるため教科書以外の本の紹介を授業に取り入れ、本好きの生徒を増やし読解の苦手な生徒を5%以下にする。</li> </ul>	
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査や小テストによる「式の計算」での達成率は、知識技能が約64%、思考・判断・表現が43%であり、「連立方程式」での達成率は、知識技能が約67%、思考力・判断力・表現力が56%であった。「式の説明」や「連立方程式の文章題」に課題が見られる。物事を論理的に考え自分の考えを表現すること、文章から数量関係を読み取り式を立てることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能に関する問題は、毎週木曜日の朝に実施している「解く力」を継続して行っていく。</li> <li>・基礎基本を中心とした夏休み明けテストを実施し、正答率70%未満の生徒に対し、補習を行う。</li> <li>・導入問題を工夫し生徒に考え、話し合う機会を増やすこと、振り返りシートを生徒が取り組みやすいように改善し、思考・判断・表現の正答率の向上を図りたい。</li> </ul>	
(英語)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査等の結果から英語力に2極化が見られた。特に、読む力に課題が見られ、教科書のパラレルリーディング問題の正答率は全体の5割である。</li> <li>・英作文では、既習事項の文法や語彙を活用し英作文を書くことに課題が見られる。</li> <li>・聞く・話す力の定着は、パフォーマンステスト等の結果から約9割の生徒が着実に定着していると考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文を読む前の導入や教師の発話を工夫し、推測しながら読むことができるようにする。また、学び合い活動を増やし、お互いに教え合うことで主体的に活動する機会を多く作る。</li> <li>・話す活動を行った後に、英作文を書かせる機会を作っていく。</li> <li>・引き続き、All Englishの授業を続け、聞く、話すを毎授業で自然に身につくことができるようにする。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査より、自分の考えを表現することに課題が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題と授業、定期考査を関連づけ、しっかりと取り組んだことによって、達成感が得られるようにする。</li> <li>・授業で習った内容について、自分の言葉で説明・表現する課題へ取り組ませたり、グループ内で考察し発表しあう場を設けるようにする。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に関する事物・現象について、質量などの実験結果の数値を用いて、計算することに課題が見られる。</li> <li>・ガスバーナーの使用方法など、実験器具の操作については、80%程度の生徒が定着している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の基礎、基本を身につける計算練習の時間を取り入れ、定量的な分析を行う実験を行い、計算量を増やす。</li> <li>・班単位の実験だけでなく、個人単位で進める実験も取り入れ、一人一人がすべての実験操作を行う機会を設けていく。</li> </ul>	